

2019年4月1日

各位

大同生命保険株式会社

2019年度 入社式 社長挨拶（要旨）

T&D保険グループの大同生命保険株式会社（社長 工藤 稔）は、82名（全国型43名、地域型39名）の新入職員を迎え、本日、2019年度入社式を行いました。社長挨拶の要旨について、別紙のとおりお知らせいたします。

以上

〔お問合せ先〕 広報課 TEL. 03-3272-6206

2019年度入社式 社長挨拶（要旨）

1. 大同生命の変革の歴史

- ・大同生命は1902年（明治35年）に創業し、今年が創業117年目にあたります。当社創業の礎を築いた大坂（大阪）の豪商「加島屋」と、創業者の1人である「広岡浅子」が生命保険事業に託したのは、「社会の救済」と「人々の生活の安定」です。
当社にはこの文字どおりの創業のほかに、“第2”“第3”の創業があったと言われています。
“第2の創業”は、1970年代に「中小企業市場への特化戦略」に大きく舵を切り、「中小企業をお守りする」という現在のビジネスモデルをスタートしたとき。そして“第3の創業”は、2002年の創業100周年を迎えた年に、国内生保ではじめて、相互会社から株式会社へ組織変更し上場を果たしたときです。
- ・大同生命の歴史は、皆さんの先輩方が、時代の変化を先取りし、前例のないことにも果敢に挑戦することで切り拓いてきたものです。
皆さんには、この“挑戦するDNA”を受け継ぎ、“第4・第5の創業を実現する”という気概を常に持って、会社を牽引してもらいたいと思います。

2. 中期経営計画「Next ステージ 2025 ～新たな価値の創造～」

- ・現在の生命保険業界は、少子高齢化の進展、お客さまニーズや販売チャネルの多様化等により、競争はますます激しくなっています。また、歴史的な低金利環境のなか、商品・資産運用面で厳しい事業環境が続いています。加えて、「フィンテック」に代表される技術革新を自らの事業に取り込むとともに、「お客さま本位の業務運営」を追求することで、商品・サービスの変革を競う活動も活発化しています。
- ・中期経営計画「Next ステージ 2025 ～新たな価値の創造～」(2016～2018年度計画)では、このような環境変化も踏まえ、営業・お客さまサービス・資産運用などのあらゆる領域で、新たな価値を創造し成長を加速することで、中小企業市場における“リーディング・カンパニー”としての地位をさらに磐石なものにすることを目指してきました。
- ・企業保障分野では、経営者の高齢化や現役期間の長期化を踏まえ、主力の定期保険に、就業不能保障を加えた“トータルな保障”のご提案を一層進めることで、「コアマーケットのさらなる深耕」に取り組んでいます。また、「介護」「相続・事業承継」など、経営者や個人事業主の皆さまのさまざまなニーズにお応えする商品・サービスの提供を通じ、「新たなマーケットの創出・拡大」を推進しています。
加えて、2017年度からは、生命保険の提案に「中小企業の健康経営の普及支援」を加えた「DAIDO KENCOアクション」に取り組んでいます。
- ・今年度スタートする新たな中期経営計画では、中小企業の経営課題に一層お応えできる生命保険会社になるべく、パートナー企業との関係も最大限活用し、「商品」「サービス」「販売チャネル」の一体改革を全社一丸となって推進していきます。
皆さんには、「社会のために」という大きな志をもって仕事に取り組んでもらいたいと思います。

3. 皆さんに期待すること

(1) 仕事に対する強い使命感

- ・中小企業は日本の企業の9割以上を占め、そこで働く方々は雇用者の約7割を占めると言われています。言い換えれば、日本経済を支えるのは“日本の宝”とも言える中小企業です。私たちの使命は、「中小企業とそこで働くすべての方を様々なリスクからお守りする」ことであり、ひいては日本経済を支えることにもつながります。皆さんには、大同生命の仕事の社会的役割の大きさを胸に刻み、「誇り」と「自信」と「責任感」をもって、それぞれの仕事に取り組んでももらいたいと思います。

(2) 信用

- ・生命保険会社にとって何よりも重要なものは「信用」です。当社はこれまでも、創業以来受け継いできた「加入者本位」「堅実経営」の社是を礎に、お客さまのご意向や利益を重視した業務運営を行ってきましたが、さらに中小企業にとってなくてはならない存在となれるよう、皆さん自身も自ら考え行動するとともに、社会人として責任ある言動を心がけてもらいたいと思います。

(3) チャレンジ精神

- ・これから社会人として、そしてプロとして仕事をしていく中で、幾度となく大きな「壁」にぶつかることでしょう。近代日本における女性実業家のさきがけとして、生涯を全力で駆け抜けた広岡浅子の座右の銘は「九転十起」です。「人が七転び八起きというなら、自分は九回転んでも十回起き上がる人間になろう」ということです。会社は、一人ひとりの個性や価値観を大切にし、皆さんの成長を後押ししていきますので、失敗を恐れることなく、「九転十起」の精神で思う存分、若い力を発揮してもらいたいと思います。

4. おわりに

- ・新たな人生の門出を前に、大きな期待とともに不安もあるでしょう。私は社員に「Let's Enjoy!」と言っています。好きこそものの上手なれ、さらに上をいくのが、「楽しむこと」だからです。「Enjoy」には、「喜びを分かち合う」という意味もあります。1人で楽しむのもよいですが、仲間がいて初めて「Enjoy」できる。ともに働き、喜びを分かち合える仲間がいることは最高の幸せです。さらにT&D保険グループには、太陽生命、T&Dフィナンシャル生命をはじめ多くの仲間もいます。互いを大切にし、共に切磋琢磨することで大きく飛躍してほしいと思います。

以 上